

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立浜北特別支援学校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	283人

1. 使用状況

寄贈物品名	ベルトグラインダー
使用学年及び人数	中学部1～3年 作業学習木工班 15人
使用頻度	週5日(作業学習実施期間 6月、10月、11月)
使用状況	<p>主に中学部の生徒が作業学習で使用している。製品作りの過程でグラインダーを掛けられるようになり、製品の角を丸めたり表面を磨いたりする工程を生徒が担当することができるようになった。</p> <p>四角のマグネットやリング型の鍋敷き、コースターなど、製作可能な製品の幅が広がり、生徒も意欲的に作業学習に取り組んでいる。</p>
物品の使用による 変化や効果 ※ 1年目との違いを含めご記入ください。	<p>1年目は教師に指導されながらグラインダーを使用することが多かったが、2年目は「ここはグラインダーで削りますか。」「ここを磨きます。」など、生徒から教師に相談や報告することが増え、より主体的に取り組むことができるようになった。</p> <p>これまではヤスリ掛けで形を整えていた工程をグラインダーで削ることができるようになり、製作時間の短縮や、製品の量産をすることができるようになった。また、ヤスリ掛け、のこぎりや糸のこ盤による切断に加えて、グラインダーを使った工程を生徒が担うことができ、技術的な学びの可能性が増えた。</p> <p>グラインダーを担当する生徒は、新たな技術に挑戦しようとする意欲や、製品がきれいに仕上がる喜び、達成感を味わうことができている。また、生徒が自己の課題や目標達成に向けて、工夫や努力をする姿が見られるようになった。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>今後は、さらに質の良い製品作りに生徒たちが自信を持って主体的に取り組むことができるように、生徒の意見を取り入れた製品作りをしていきたい。</p>
その他希望や所感など	<p>これからも作業学習を通して、生徒の成長につながるよう大切にグラインダーを使わせていただきます。ありがとうございました。</p>

2. 活用の様子

寄贈していただいたベルトグラインダーを使用して、接着したコースターの仕上げや
リンゴ型鍋敷き、リンゴ型コースターを製作中



新製品:リンゴ型鍋敷き、リンゴ型コースター



コースター



小物入れ

